

米子工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	ベーシックイングリッシュ
科目基礎情報					
科目番号	0031		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	『TOEIC TEST : Motivation』南雲堂				
担当教員	中島 美智子, 鈴木 章子				
到達目標					
1. 英文法の基礎的な知識を理解することができる。 2. 理解した英文法項目を表現の中で使用することができる。 3. 日常生活を送る上で、英語で簡単なコミュニケーションができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
	英文法の基礎的な知識を利用することができる。	英文法の基礎的な知識をある程度利用することができる。	英文法の基礎的な知識を利用できない。		
	理解した英文法項目を表現の中で実践できる。	理解した英文法項目を表現の中である程度実践できる。	理解した英文法項目を表現の中で実践できない。		
	日常生活を送る上で、英語で簡単なコミュニケーションが実践できる。	日常生活を送る上で、英語で簡単なコミュニケーションがある程度実践できる。	日常生活を送る上で、英語で簡単なコミュニケーションが実践できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 E-1 JABEE f					
教育方法等					
概要	英語の基礎力をつけることに主眼をおく。より高度な英語力を身につけて、使えるような実践的な英語運用力を習得するためには、まず「土台」を堅固なものにする必要がある。本講義では、自学学習を取り混ぜながら、語彙力、文法力、読解力、リスニング力の学習に焦点をあてていく。				
授業の進め方・方法	本授業では、予習を前提とし、積極的な授業への参加を求める。復習のために、前時の学習内容の定着を小テストによって確かめる。				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス (授業の進め方)		
		2週	Unit 1A Photographs 現在進行形	1. 英語を聴いて、その英語の内容を理解しその設問に答えることができる。2. 限られた時間内で、対象となる英文を読んで内容の要点を理解することができる。3. 英文の流れをつかみながら、その内容を正確にできるだけ速く理解することができる。4. 教科書本文に出てきた文法事項が理解できる。	
		3週	Unit 1B Photographs 現在進行形	上記1.~4.	
		4週	Unit 2A Question-Response 疑問文	上記1.~4.	
		5週	Unit 2B Question-Response 疑問文	上記1.~4.	
		6週	Unit 3A Short Conversations 現在完了	上記1.~4.	
		7週	Unit 3B Short Conversations 現在完了	上記1.~4.	
		8週	Unit 4A Short Talks 接続詞 (1)	上記1.~4.	
	2ndQ	9週	前期中間試験	前期中間までに習った内容を理解する。	
		10週	Unit 4B Short Talks 接続詞 (1)	上記1.~4.	
		11週	Unit 5A Incomplete Sentences 名詞の種類・主語と動詞の一致	上記1.~4.	
		12週	Unit 5B Incomplete Sentences 名詞の種類・主語と動詞の一致	上記1.~4.	
		13週	Unit 6A Text Completion 不定詞・動名詞	上記1.~4.	
		14週	Unit 6B Text Completion 不定詞・動名詞	上記1.~4.	
		15週	前期のまとめ	前期期末までに習った内容を理解する。	
		16週	前期期末試験	前期期末までに習った内容を理解する。	
後期	3rdQ	1週	Unit 7A Reading Comprehension 分詞	上記1.~4.	
		2週	Unit 7B Reading Comprehension 分詞	上記1.~4.	
		3週	Unit 8A Photographs 受動態	上記1.~4.	
		4週	Unit 8B Photographs 受動態	上記1.~4.	

4thQ	5週	Unit 9A Question-Response 動詞	上記1.~4.
	6週	Unit 9B Question-Response 動詞	上記1.~4.
	7週	Unit 10A Short Conversations 助動詞	上記1.~4.
	8週	後期中間試験	後期中間までに習った内容を理解する。
	9週	Unit 10B Short Conversations 助動詞	上記1.~4.
	10週	Unit 11A Short Talks 接続詞 (2)	上記1.~4.
	11週	Unit 11B Short Talks 接続詞 (2)	上記1.~4.
	12週	Unit 12A Incomplete Sentences 比較	上記1.~4.
	13週	Unit 12B Incomplete Sentences 比較	上記1.~4.
	14週	Unit 13A Text Completion 仮定法	上記1.~4.
	15週	Unit 13B Text Completion 仮定法	上記1.~4.
	16週	学年末試験	学年末までに習った内容を理解する。

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	

### 評価割合

	試験	その他					合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0